

●締め切り迫る！9月7日開催『第2回ビギナーズ杯』@五反田ブリッジスタジオ

MP3点未満の方たちにゲームの楽しさを気軽に味わっていただくための普及事業部主催、超初心者大会『第2回ビギナーズ杯』、9月3日エントリー締切りです。お急ぎ下さい！

どうしようか悩んでいる初心者さんが周りにいらしたら、背中を押してあげてください。

●こちらも締め切り迫る！9月19日開催「第2回長崎居留地まつりブリッジ大会」

MP30点未満の方たち対象の豪華賞品付き初心者大会@長崎市旧上海銀行。

お申込みは9月13日までに長崎チェス&ブリッジクラブまで。

★「全国ブリッジ巡ってBINGO」対象です。

★県外からの参加者全員にカステラと長崎の銘酒プレゼント！

●ユース、世界チャンピオンに！ シニアチームに続く快挙！

2009年度ユース日本代表の三浦裕明君(23歳、東京外国語大出身)

／小池紀彰君(22歳、大阪大学4年)が世界チャンピオンになりました！8月15日～23日までトルコ・イスタンブールで開催されていたWBF主催「第1回ワールドユースコンGRESS」チーム戦の部で、チェコの大学生ペアと「日本ーチェコ」のトランスナショナルチームを組んで成し遂げた快挙です。「日本ーチェコ」チームは、40チームで行われたスイス予選を2位で通過、続く決勝トーナメントは、イタリア、アメリカ、オランダ、フランス、ギリシャ、ポーランド、トルコといった強豪国揃いでしたが、ポーランド、オランダ、イタリアを撃破しての優勝は見事でした。2位はイタリアRED、3位はUSA BLUEでした。



ワールドユースコンGRESSは、「Bridge for Peace(平和への架け橋=ブリッジ)」をモットーにしているWBFが世界のユースたちにトランスナショナルチームでの参加を奨励している大会、チェコペアとのチーム結成は、三浦君がBBOでチームメイトを募集したことがきっかけでした。それがチェコのユースチーム監督をしていたオランダの元ウィメンズ代表イネ・ギルケンスさんの目にとまり、チェコのエースペア、ミラン・マクラ選手(23歳)とミカル・コペツキー選手(25歳)が紹介され、イネさんをNPCに「日本ーチェコ」チームが誕生したのです。チームメイトたちとは連日連夜、時差をものともせずBBOで練習を重ね、現地で初めて会ったにもかかわらず素晴らしいチームワークでの勝利でした。(詳しくは11月発行のブリテンで)

おめでとうございます！GOOD JOB！

「ワールドユースコンGRESS」には「日本ーチェコ」チームのほかに、若手ユース4名の「JAPAN」チームが参加し、予選25-26位タイの成績を収めました。ブリッジ文化が定着している欧米で、小さい時からブリッジに親しんでいる選手たちの中で、ブリッジ歴2～3年の「JAPAN」チームはアベレージまであと8VPというところまで頑張りました。

「JAPAN」チーム：村井健多郎(21歳、学習院大学3年)－半田康一(20歳、東京大学3年)
貴戸祥郎(22歳、大阪大学4年)－兼田顕治(20歳、大阪大学3年)

続いて行われたペア戦は、

- ★MPペア戦(54 ペア)：優勝 オランダ男女ペア、三浦－小池ペア 6位
- ★IMPペア(36 ペア)：優勝 チェコペア(注：「日本－チェコ」チームとは違うペアです)
6位 村井－半田 24位タイ 貴戸－兼田

今回のワールドユースコンGRESS代表選手たちの中に未成年選手がいなかったので、予算の関係上JCBLからNPCは同行せず、選手たちだけで赴きました。宿舎は、会場のイェディテペ大学の学生寮。自分たちだけで、言葉も環境もまったく違う国で世界の同世代の熱気に触れながら9日間戦ってきたことは、来年の世界ユース選手権(注：今年のパABF選手権でU26 チームが世界選手権への出場権を獲得しています)に向けて大きな自信につながったことでしょう。

●第39回世界チーム選手権@サンパウロ、開幕！

最も歴史のある世界チーム選手権(第39回バミューダボウル、第17回ベニスカップ、第5回シニアボウル)が8月28日～9月12日の期間、ブラジル・サンパウロで開催されています。

日本からは、6月のPABF選手権マカオ大会を勝ち抜いてゾーン6の代表として出場権を獲得したオープン/ウィメンズ/シニアチームが参加しています。日本から約30時間、時差12時間の地での試合です。コンディション調整も勝利への鍵を握る試合、まずは「予選突破」をめざして各チーム頑張っています。

[日本代表選手]

・バミューダボウル(オープンチーム)

NPC：前田尚志

メンバー：井野正行、今倉正史、陳大偉、古田一雄、寺本直志、高山雅陽

・ベニスカップ(ウィメンズチーム)

NPC：黒川晶夫

メンバー：西田奈津子、宮国亜矢子、中尾共栄、大野美智子、島村京子、伴野和子

注)大野美智子さんは、代表メンバー坂本みどりさんが病気のため、急遽代理に指名されました。

・シニアボウル(シニアチーム)

メンバー：山田彰彦、大野京子、中村嘉幸、平田眞、神代高弘(PC)

●産経新聞にブリッジの全面広告を出しました！

8月28日発行の産経新聞(九州版/東海版)に、ブリッジを総合的に紹介する1ページ広告を出しました。タイトルは「Shall We Bridge? コントラクトブリッジをはじめませんか?」、ブリッジの概要や魅力、日本から世界チャンピオンが2部門で誕生していること、教育現場でのブリッジ現状などを簡単に紹介しています。希望者全員にブリッジ紹介小冊子を、抽選で50名に特製トランプをプレゼントというおまけも付けました。応募者の住所により、最寄りのブリッジセンターの案内も同封する予定です。「始めてみたい」という人、「昔やっていたがそろそろ再開したい」という反応を多数期待しているのですが…。

過去の全面広告(日刊スポーツ、朝日新聞、西日本新聞など)と同様、今回も広告面だけの別刷りを発注しました。ブリッジ・インストラクターの皆様の活動の中で、ブリッジをご存知ない方に紹介する際などにお役立ていただければ幸いです。ご希望の方は事務局まで必要枚数とともにご連絡ください。

●途上国の子どもたちのためのチャリティー・イベント with ブリッジ、盛り上がりました！

前号でご案内した「ビアーズ・フォー・ブックス・イン・オーサカ」(8月8日 @プロント大阪ビジネスパーク店、主催：ルーム・トゥ・リード関西グループ)は、「子どもたちのために何かしたい」という目的のもとに集まった64名の人々が「ブリッジ」を通してさらにまたひとつになり、結果としてなんと書籍525冊分の寄付金が集まるという素晴らしいイベントになりました。人と人をつなぐ社交ツールとしてのブリッジがその真価を100%発揮、初めて出会った人同士が楽しそうにテーブルを囲み、大人の夜の素敵なイベントは深夜まで盛り上がり、大成功のうちに終了しました。

*主催団体と趣旨に関しては、普及通信8月号でご紹介しています。ご覧ください。

プログラム：

- 18:30～ 主催者「ルーム・トゥ・リード」関西グループ代表挨拶
JCBL挨拶(山口知也関西支部長)
乾杯、食事(イタリアン・ビュッフェ)、歓談
「ルーム・トゥ・リード」創始者ジョン・ウッド氏の半生・活動上映
- 19:45～ コントラクトブリッジ・デモンストレーション



ちょっとした紹介説明のあと、別にしつらえたテーブルでデモ・プレイを開始。大勢の人たちが周りを取り囲みました。そして次々と「おもしろそう、やってみたい！」とあちらこちらのテーブルで、協力くださったプレイヤーの皆様の指導を受けながらミニブリッジをエンジョイなさっている光景がみられました。

★プレイヤーによるデモンストレーション、直接カードにさわってのミニブリッジゲームのほか、参加者全員に配布されるお持ち帰り用キットの中には、チャリティー活動の資料とともに「Let's Play Bridge」小冊子、橋之介のカード、大阪ブリッジセンターの講習会・体験教室案内をしっかりと入れました。「社交ブリッジの楽しさ」と同時に、「社会に役立つツールであること」、「社会貢献活動に積極的に協力する日本コントラクトブリッジ連盟」であることをアピールしてきました！当日の様子は「ビアーズ・フォー・ブックス」のウェブサイト(<http://www.beersforbooks.org/>)に掲出されており、世界中からアクセスしてくる人に、ブリッジとのコラボレーションが伝わっています。日本各地で行なわれるチャリティー・イベントなので、地元活性化につながる普及活動の新しい形としても今後の展開が期待されるところです。

大阪ブリッジセンターの関係者の皆様、応援に駆けつけてくださった有志の皆様、ご協力ありがとうございました。

このビアーズ・フォー・ブックス・イベントは、ルーム・トゥ・リード(<http://www.roomtoread.jp>)への寄付金を集めるためのイベントです。2009年中に全都道府県での開催を目標としているそうです。皆様のお住まいの地域でも開催されるかもしれません。ブリッジデモンストレーションの依頼がきましたら、ぜひ一緒にやりましょう！よろしくお祈りします。

●募集！普及グッズや商品のアイデア

普及事業部では、より多くの人に「ブリッジ」というカードゲームがあることを知っていただくための普及グッズの企画・製作も行なっています。

これまで、JCBLキャラクターとしてテディベアの「橋之介」を製作し、カード(2種)、クリアホルダー(2種)、ストラップ、バッジ、メモ帳、イベント時に使用する風船やのぼりなどに展開しています。

カードとクリアホルダーは商品としても販売、お子さんだけでなく大人の方にもけっこう「かわいい、孫が喜ぶ」と好評をいただいているのですが、そろそろ新しいグッズをと考案中です。

対象を、①ブリッジを知らない人に親近感を持ってもらうため用、②プレイヤー用に分けた場合、それぞれどのような新グッズがあると良いと思われますか？普及事業部までアイデアをお寄せください。商品として販売もしますが、普及用として無料で配布する時もありますので、手軽に作れて、使えるものを歓迎します。